

心も身体も動かしたい!!

第一中3年 津吹直孝さん

8月6日、t e t t eで少年の主張大会が行われました。市内各中・義務教育学校の生徒10人が、日頃考えていることや感じていることなどを発表し、最優秀賞と優秀賞の5人が、県大会の出場候補者として推薦されました。最優秀賞を受賞した津吹さんの作品を紹介します。

最近、僕の心は揺れています。それは「須賀川市ってポイ捨てされてるゴミ多くない？」ということについてです。毎日歩いて通っている通学路では、日に日にゴミの量が増

えていることが実感できてしまいました。そこで、実際に学校の周辺をゴミ拾いしながら見て回りました。その結果、歩道よりも交通量の多い道路のほうが、圧倒的にゴミの数が多



最優秀賞を受賞した津吹直孝さん

●受賞者一覧 ※同一賞内は発表順

| 最優秀賞 | 津吹直孝 | 第一中3年 | 心も身体も動かしたい!! |
|-------|-------|--------|--------------------|
| 優 秀 賞 | 七海愛奈 | 岩瀬中3年 | 「一人の人間」として |
| | 遠藤かのん | 第二中3年 | 私のプライド |
| | 須釜夕結 | 西袋中3年 | 普通の日々を大切に |
| | 塩田希羽 | 小塩江中3年 | 短所が導く私の長所 |
| 優 良 賞 | 添田美衣奈 | 長沼中3年 | 争いのない世の中に |
| | 関根末夢 | 第三中3年 | 「支えてもらう側」から「支える側」へ |
| | 深谷葵介 | 稲田学園9年 | 野球は成長させてくれるから… |
| | 柳沼沙奈 | 仁井田中3年 | 私を変えたもの |
| | 三瓶彰大 | 大東中3年 | 思い込みのこと |

いことに気づきました。おそらく車からポイ捨てしたのでしょう。車からなら、誰が捨てたか分からないからって捨てて良い訳はありません。「ゴミが散らばった街で生活したいですか？」と聞かれたら、嫌という人がほとんどだと思います。このことは、最近SDGs関連で耳にすることも多くなった環境問題とも深く関係しています。そんな現状を変えるべく、僕が編み出した一味も二味も違う提案をさせていただきます。

その提案とは「Let'sポイ活!」ゴミ拾いで須賀川をCleanな街へ。須賀川市が始めることで、これはどういうことかというところ、街の至る所にアプリと連携したゴミ箱を設置し、拾ったゴミの量の分だけポイントがもらえるというものです。

順を追って説明します。まずこの活動に参加したい人にスマホから顔認証でアプリに登録してもらいます。そして落ちているゴミを拾ったら、近くのゴミ箱に拾ったゴミを持って行きます。顔認証で認証されたからゴミを入れます。そうすると、登録元のスマホにポイントが入るという仕組みです。そして、ポイントの対象は、ポイ捨てしてあったゴミに限られた話ではありません。例えば、飲み干したペットボトルのゴミが外先で出たとしても、このゴミ箱に捨てることでポイントが貰えるとなれば、普通ならポイ捨てされてしまうゴミが、ポイ捨てのゴミにもならず、ポイントになるという、一石二鳥の効果を得られます。この活動の良いところはゴミ拾いに対する意欲が変わるということです。「ゴミ拾い」と聞いて「めっちゃやりたい」という人は中々いないし、やる前はなかなか乗り気にならないものです。しかしながら、ゴミ拾いをした後のやりがい「いい事した感」はすこ



緊張の発表を終えて、記念撮影

いですよね。そこで、ゴミ拾いをするだけで手軽にポイントが貰えるとなれば、ほんの少しでも「拾ってみようかな」と、心が動きませんか。つまり、このアプリを導入することで「ゴミ拾い＝面倒くさい」や「ゴミ拾い＝させられる」という受け止め方から「ゴミ拾い＝自分のためになる」「ゴミ拾い＝やりたい」というように「心を変化させるきっかけになる」というのが、この提案の理想だと考えています。

「ポイ捨ては、心の落とし物」などのポイ捨てに対する気持ちを表現した言葉を、ネット上で多く見かけました。そこで、僕もそれになぞらえて考えてみました。それは捨てたのは「ゴミ?それともあなたのモラル?」です。これは、ポイ捨てをしている人に「本当にそれでいいの?」と考えさせたくて、語りかけるような口調にしたものです。世の中にはこのような、良い格言がたくさんあります。それは、裏を返せば沢山の人が僕と同じ思いをしているのに、状況が改善していないことを表していると思います。「自分はポイ捨てしていないから関係ない」や「捨てる奴らが悪いだろ」と他人事として考えている人も多いのが現状です。僕はそんな状況を改善したくて、熱い気持ちをもってここでスピーチをしています。僕の提案で少しでも心が動いたならば、身体も動かしてさっそく行動に移しましょう。ボランティアに参加したり、さり気なくゴミを拾ったり、その行動は何でも構いません。行動するのが大切なのです。そうすればきっと須賀川がきれいになるはずですよ。僕はこの提案で、自分をはじめ、みなさんの心と身体を動かして「きれいな街須賀川」を実現させます!

市民協働推進課 ☎(94)4432

秋の全国交通安全運動

9月21日(日)から30日(火)まで、秋の全国交通安全運動が全国一斉に展開されます。これからは、日没時間が急激に早まります。歩行者は反射材を身に付け、車道を横断するときは十分注意しましょう。



運転者は、同乗者にシートベルトの着用を働き掛け、早めにライトを点灯し、子どもや高齢者の近くを通過するときは徐行するなど、ゆとりを持って、思いやりのある運転を心掛けましょう。

運動のスローガン
見えないを 見えるに変える 反射材

- 運動の重点
- ▶歩行者の安全な道路横断方法等の実践と反射材用品や明るい目立つ色の衣服等の着用促進
 - ▶ながらスマホや飲酒運転等の根絶と夕暮れ時の早めのライト点灯やハイビームの活用促進
 - ▶自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底とヘルメットの着用促進

市民安全課 ☎(88)9128

9月20日～26日は動物愛護週間

犬や猫などの動物を飼うときは、生涯を終えるまで愛情と責任を持って飼いましょう。野良猫でも餌を与えていれば、飼い主と同等の責任が生じます。



犬を飼うとき

- ▶生後91日以上の子犬には、市への登録手続きと年1回の狂犬病予防注射が義務付けられています
- ▶放し飼いは、近隣住民に迷惑が掛かるのでやめましょう
- ▶散歩中のふんは、飼い主が持ち帰りましょう

猫を飼うとき

- ▶交通事故を防止するためにも、家の中で飼いましょう
- ▶飼い猫を識別できるように、迷子札を着けるなど工夫しましょう。屋内から逃げ出して保護されたときにも役立ちます
- ▶繁殖させる計画がないときは、不妊・去勢手術を行いましょう

譲渡の手続き 県動物愛護センター☎024(953)6400 (田村郡三春町大字上舞木字向田17)では、犬や猫の譲渡を行っています。譲渡を希望するときは、所定の手続きがありますので、お問い合わせください。

環境課 ☎(88)9129